

JIS

小形船用鋼製船側はしご

JIS F 2605 :1999

(2006 確認)

平成 11 年 3 月 24 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、運輸大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS F 2605 : 1995は改正され、この規格に置き換えられる。

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 47.2.1 改正：平成 11.3.24

官 報 公 示：平成 11.3.24

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 小山 初見）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（☎100-8989 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-3）又は工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

小形船用鋼製船側はしご F 2605 : 1999

Small size steel accommodation ladders

序文 この規格は、1979年に第1版として発行されたISO 5488, Shipbuilding—Accommodation laddersを元に、荷重試験方法については、対応国際規格の技術的内容を変更することなく規定した日本工業規格であるが、小形船用として対応国際規格にはない種類、構成、構造、形状及び寸法、材料、製品の呼び方並びに表示の規定項目を追加した。なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、小形の非客船に用いる鋼製船側はしご(以下、はしごという。)について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 5488 : 1979, Shipbuilding—Accommodation ladders

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規程の一部を構成する。これらの規格はその最新版を適用する。

JIS B 1117 すりわり付き止めねじ

JIS B 1135 すりわり付き木ねじ

JIS B 1256 平座金

JIS B 1351 割りピン

JIS F 3412 船用リングプレート

JIS F 3905 船用トグルピン

JIS F 3906 船用鎖ひも

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管

JIS G 3505 軟鋼線材

JIS H 3100 銅及び銅合金の板及び条

JIS H 3260 銅及び銅合金線

JIS H 3270 ベリリウム銅、りん青銅及び洋白の棒及び線

JIS H 5120 銅及び銅合金鋳物

3. 種類 はしごの種類は、はしごの呼び長さによって、表1の5種類とする。

表1

単位 m

呼び長さ (l)	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0
----------	-----	-----	-----	-----	-----

備考1. はしごの呼び長さとは、トップアイピンの穴の中心から下端踊り場の結合ピン穴の中心までの長さをいう。

2. はしごの全長とは、トップアイピンの穴の中心から側板先端までの長さをいう。